

はじめに

- 平成26年7月に、文部科学省の「科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 宇宙開発利用部会 国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会」において、ISSへの参加の在り方についての中間取りまとめが出され、その中で「きぼう」利用に関しては、「引き続き基礎研究にも一定の配分をするポートフォリオとしつつも、国の戦略的な研究や民間利用の拡大などを進めること」が重要であるとされています。
- これを踏まえ、JAXAとしては、平成32年(2020年)を当面のマイルストーンとして、「きぼう」でしか得られない、かつ社会的波及性の高い「きぼう」利用成果の創出を目指し、今後の「きぼう」利用においては以下を重点的に進めることとしています。

(1) 国の戦略的施策に沿った課題解決型の研究(国の戦略的な研究)への貢献

(2) 民間企業の研究開発での利用の推進

(3) 研究者の自由な発想に基づく先駆的でチャレンジングな研究利用の推進(継続)

- この方針の下、平成27年4月23日(木)より、(1)(3)について「きぼう」利用実験に向けたフィジビリティスタディ(FS)を行うテーマを募集します。

国の戦略的研究募集区分

科学技術イノベーション総合戦略2014
5つの政策課題

- ◆ エネルギー
- ◆ 健康・医療
- ◆ 次世代インフラ
- ◆ 地域産業育成
- ◆ 震災復興

「きぼう」利用推進有識者委員会
(JAXA有人宇宙技術部門長の外部諮問委員会)

これまでの研究成果を踏まえ、今回の募集対象領域等を設定。

募集対象領域

- ①「きぼう」を使ったヒトの疾患に関連するエピゲノム研究
- ②臓器立体培養等の再生医療に関する「きぼう」利用研究

国が戦略的に推進している競争的資金制度等に採択される研究において、「きぼう」での実験でその成果に付加価値を付けることにより、成果の最大化を図る。

一般募集区分

優れた知を世界に先駆けて生み出し、将来的な科学技術イノベーション創出の源泉となる成果を創出することを目的とする。

募集対象分野

研究者の自由な発想に基づく独創的かつ先導的で、国際的に高い水準の研究であって、微小重力などの宇宙環境の特徴を最大限に活用するテーマを募集。

生命科学分野

宇宙医学分野

物質・物理科学分野

※ 曝露(船外)環境を使った実験、タンパク質結晶生成実験、材料曝露実験(簡易曝露実験装置ExHAM利用)、材料浮遊溶解実験(静電浮遊炉利用)、人文社会科学、教育に関するテーマは募集対象外。

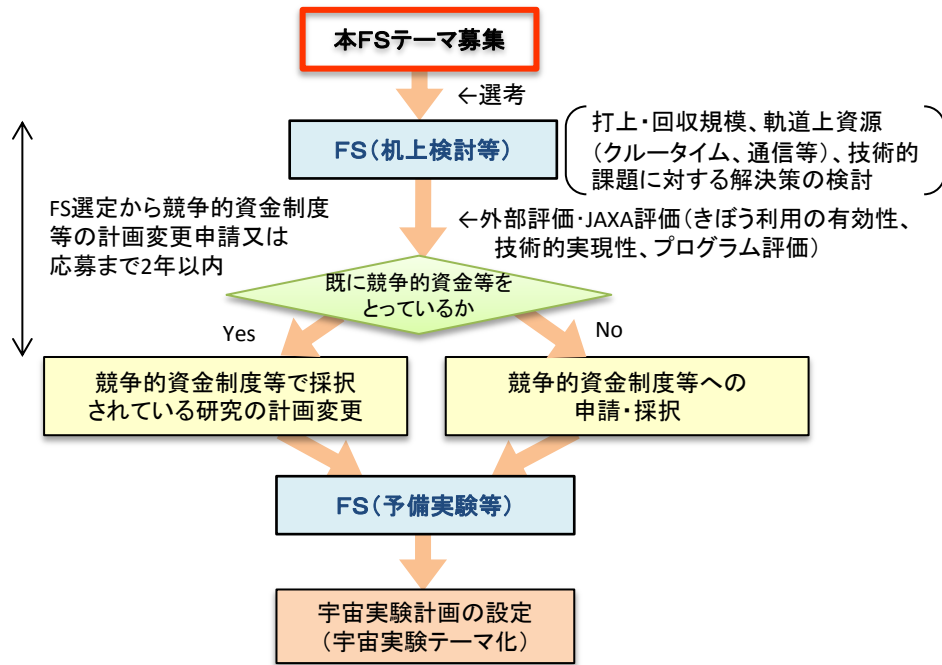
国の戦略的研究募集区分の評価・選考の主な観点

- 「きぼう」利用によって国の戦略的な研究の成果最大化に貢献できること。すなわち、「きぼう」利用の成果が国の戦略的な研究の成果につながり、産業の発展や社会貢献等、国民への還元にどのように寄与するのか(成果活用)の見通し・ビジョンが明確に示せること。
- その他、JAXAの募集方針等との整合性、宇宙実験の内容、実施体制等が妥当であること。

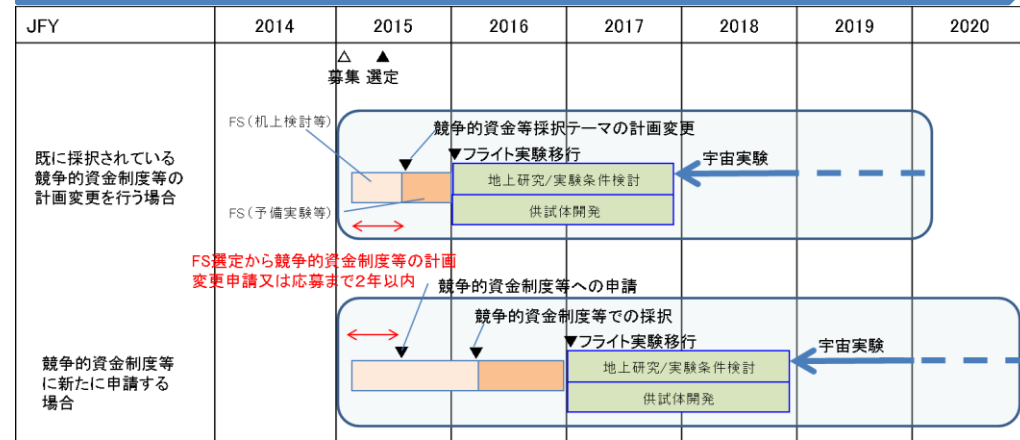
一般募集区分の評価・選考の主な観点

- 「きぼう」利用の成果が世界的に特に優れた科学的成果の創出や我が国の科学技術イノベーションの創出、産業や社会への貢献等にどのようにつながるのか(成果の活用)の見通し・ビジョンが明確に示せること。
- その他、宇宙実験の内容、実施体制等が妥当であること。

テーマ募集から実験計画の設定までのフロー



宇宙実験実施までのスケジュール



募集スケジュール

- 募集開始 : 平成27年4月23日(木)
- 仮申込締切 : 平成27年6月26日(金)17:00まで
- 正式申請締切 : 平成27年7月17日(金)17:00まで
- 書類審査 : 平成27年8月～10月(予定)
- 選定結果発表 : 平成27年10月(予定)

※募集に関する詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

http://iss.jaxa.jp/kiboexp/participation/application/2015_kibo-utilization-theme.html